

# 宮崎再生対策特別委員会資料

令和5年5月26日

商工観光労働部

1. 県内経済の概況等について	03-11
2. コロナ禍における本県観光の動向	12-16
3. コロナ禍における主な観光分野施策	17-25
4. 観光みやぎきの創生に向けた 令和5年度の主な施策	26-31

## 県内経済の概況について①

商工政策課

### 全体概況

令和4年の県内経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大と縮小が繰り返し発生する中、**生産面の一部に弱めの動き**がみられたものの、**消費面や雇用・労働環境は改善**がみられるなど、**全体としては緩やかに持ち直した。**

### < 主要な経済指標の動き >

#### (1) 生産

生産指数及び出荷指数が低下し、在庫指数は上昇した。

指標名	単位	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
<u>鉱工業生産指数</u> (原指数)	(H27=100)	96.7	96.6	87.7	91.7	<u>87.7</u>
	※年平均	↗ 0.5	↘ △ 0.1	↘ △ 9.2	↗ 4.6	↘ △ 4.4
<u>鉱工業出荷指数</u> (原指数)	(H27=100)	97.3	94.4	88.1	90.7	<u>87.3</u>
	※年平均	↘ △ 0.4	↘ △ 3.0	↘ △ 6.7	↗ 3.0	↘ △ 3.7
<u>鉱工業在庫指数</u> (原指数)	(H27=100)	102.4	116.8	108.8	111.0	<u>112.0</u>
	※年平均	↗ 7.3	↗ 14.1	↘ △ 6.8	↗ 2.0	↗ 0.9

※下段は対前年増減率 (%)

【出典】 県統計調査課調べ

# 1 県内経済の概況等について

## 県内経済の概況について②

商工政策課

### (2) 消費

乗用車新車登録・届出台数は減少したが、百貨店・スーパー販売額や航空便利用客数、主要ホテル・旅館宿泊客数は増加した。

指標名	単位	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
<u>百貨店・スーパー販売額</u>	百万円	73,584	73,629	70,244	68,495	<u>72,097</u>
	(全店)	↘ △ 4.2	↗ 0.1	↘ △ 4.6	↘ △ 2.5	↗ 5.3
	(既存店)	↘ △ 4.4	↗ 0.1	↘ △ 3.5	↘ △ 2.0	↗ 5.3
乗用車新車登録台数 (普通車) 排気量660cc超	台	22,683	23,014	20,442	19,279	17,144
		↗ 0.3	↗ 1.5	↘ △ 11.2	↘ △ 5.7	↘ △ 11.1
乗用車新車届出台数 (軽自動車) 排気量660cc以下	台	18,032	17,674	15,228	14,413	13,003
		↗ 6.5	↘ △ 2.0	↘ △ 13.8	↘ △ 5.4	↘ △ 9.8
<u>航空便乗降客数</u>	人	3,306,556	3,364,422	1,367,811	1,216,021	<u>2,192,336</u>
		↗ 5.3	↗ 1.8	↘ △ 59.3	↘ △ 11.1	↗ 80.3
<u>主要ホテル・旅館宿泊客数</u>	人	1,225,081	1,257,773	768,705	802,856	<u>1,082,746</u>
		↗ 5.5	↗ 2.7	↘ △ 38.9	↗ 4.4	↗ 34.9
消費者物価指数 (総合指数) 宮崎市	(R2=100) ※年平均	99.9	100.1	100.0	99.5	101.9
		↗ 0.5	↗ 0.3	↘ △ 0.1	↘ △ 0.5	↗ 2.4
消費者物価指数 (生鮮食品を除く総合) 宮崎市	(R2=100) ※年平均	100.0	100.4	100.0	99.6	101.7
		↗ 0.4	↗ 0.4	↘ △ 0.4	↘ △ 0.4	↗ 2.1

※下段は対前年増減率(%)

※百貨店・スーパー販売額の「既存店」は、前年にも調査の対象となっている事業所をいう。

【出典】百貨店・スーパー販売額：九州経済産業局調べ、乗用車新車登録・届出台数：日本自動車販売協会連合会宮崎県支部調べ、航空便利用客数：(株)宮崎交通、県総合交通課調べ、主要ホテル・旅館宿泊客数：県観光推進課調べ、消費者物価指数：県統計調査課調べ

## 県内経済の概況について③

商工政策課

### (3) 雇用・労働

新規求職申込件数は減少し、新規求人数は増加した。また、有効求人倍率は上昇した。

指標名	単位	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
<u>新規求職申込件数</u>	件	58,042	56,254	52,651	53,054	<u>52,711</u>
		👇 △ 4.6	👇 △ 3.1	👇 △ 6.4	👆 0.8	👇 △ 0.6
<u>新規求人数</u>	人	123,251	116,951	101,310	114,301	<u>122,035</u>
		👆 0.8	👇 △ 5.1	👇 △ 13.4	👆 12.8	👆 6.8
<u>有効求人倍率</u> (原数値)	倍	1.50	1.45	1.18	1.32	<u>1.43</u>
	※年平均	👆 0.10	👇 △ 0.05	👇 △ 0.27	👆 0.14	👆 0.11

※下段：新規求職申込件数及び新規求人数は対前年増減率（％）、有効求人倍率は前年差（ポイント）

【出典】新規求職申込件数・新規求人数：宮崎労働局調べ、有効求人倍率：厚生労働省調べ

### (4) 経営・金融

企業倒産は低い水準で推移した。預金・貸出金残高は増加した。

指標名	単位	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
<u>企業倒産件数</u> (負債総額1千万円以上)	件	32	26	33	27	<u>23</u>
		👇 14.3	👆 △ 18.8	👇 26.9	👆 △ 18.2	👆 △ 14.8
<u>企業倒産負債額</u> (負債総額1千万円以上)	百万円	10,109	1,463	3,454	3,367	<u>4,154</u>
		👇 227.5	👆 △ 85.5	👇 136.1	👆 △ 2.5	👇 23.4
<u>金融機関預金残高</u>	億円	45,270	46,088	51,018	53,158	<u>55,216</u>
		👆 4.1	👆 1.8	👆 10.7	👆 4.2	👆 3.9
<u>金融機関貸出金残高</u>	億円	29,881	30,334	31,910	32,097	<u>32,462</u>
		👆 4.2	👆 1.5	👆 5.2	👆 0.6	👆 1.1

※下段は対前年増減率（％）

【出典】企業倒産件数・負債額：(株)東京商工リサーチ宮崎支店調べ、

金融機関預金・貸出金残高：日本銀行宮崎事務所、宮崎県信用農業協同組合連合会調べ

## 1 県内経済の概況等について

### 県内企業の動向について①

商工政策課

2023年3月1日から3月15日にかけて、県と（一財）みやぎん経済研究所が共同で実施した「2023年3月期企業動向アンケート調査（回答企業：220社）」から一部を抜粋。

<文中の用語>

前期：2022年10～12月期    I期：1～3月    II期：4～6月  
今期：2023年1～3月期    III期：7～9月    IV期：10～12月  
来期：2023年4～6月期

**DI（Diffusion Index）：**

「好転・増加・過剰」の回答割合（%）－「悪化・減少・不足」の回答割合（%）＝DIで、景気動向を判断する指標のひとつ

**P：**ポイント

## 1 全般的業況判断について

今期（2023年1～3月期）の全般的業況DIは、「▲4P」と、前期（2022年10～12月期）比3Pの悪化。

業種別では、製造業（▲20P）が需要の減少から大幅に悪化し、マイナスとなった一方、建設業、卸小売業はプラスに転じた。

来期（2023年4～6月期）は、コロナ対策の緩和による経済の活性化や価格転嫁による利益の確保等「好転」の回答がやや増加してDIは「▲1P」となった。

表1. 全般的業況判断DIの動き

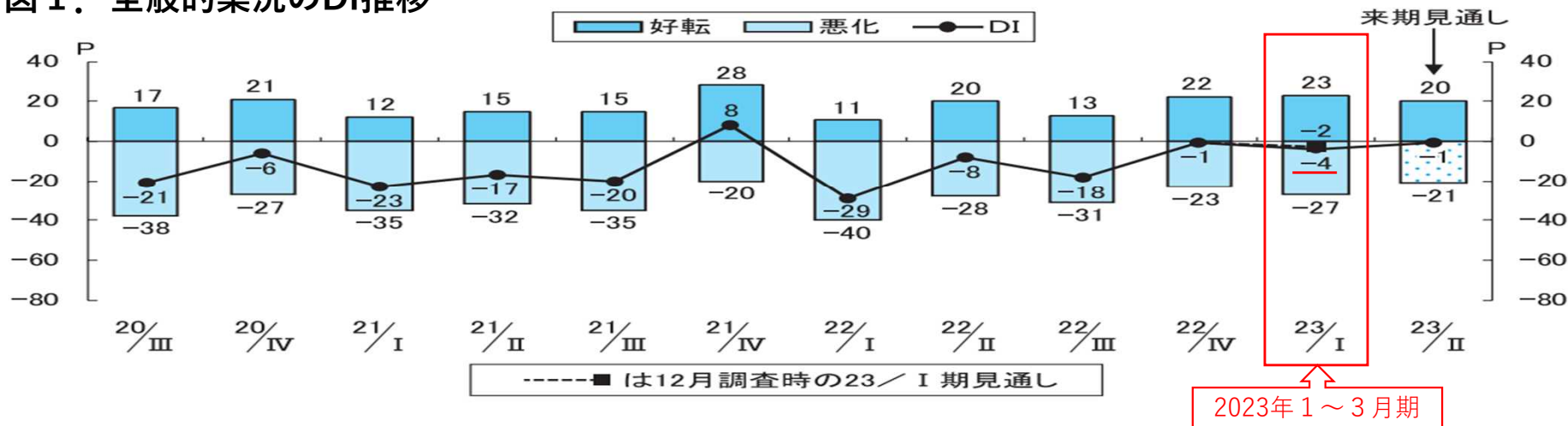
業種	DI		
	前期	今期	来期見通し
全体	▲1	▲4	▲1
製造業	5	▲20	5
建設業	▲12	2	▲9
卸小売業	▲10	4	1
サービス業	19	5	0

# 1 県内経済の概況等について

## 県内企業の動向について②

商工政策課

図1. 全般的業況のDI推移



## 2 業種別DI

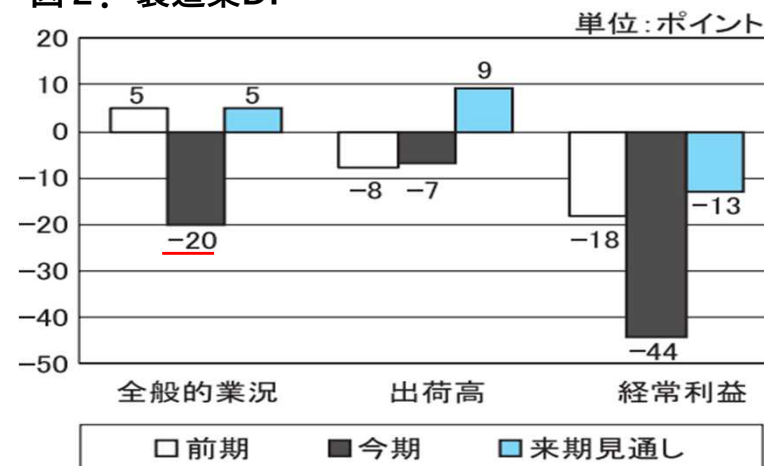
### ○製造業

今期の全般的業況DIは、前期比▲25 Pの「▲20 P」とマイナスに転じた。

分野別では、「食料品・飲料」「木材木製品」が「鳥インフルエンザ」「需要の減少」等で、DIがマイナスに転じた。

来期のDIは「+5 P」とプラスに転ずる見込みで、分野別では「食料品・飲料」で「需要の回復」等「好転」の回答が増えた。

図2. 製造業DI



## 県内企業の動向について③

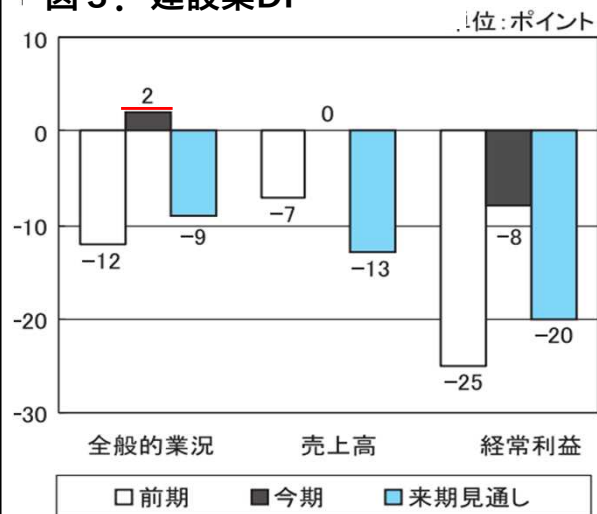
商工政策課

### ○建設業

今期の全般的業況DIは、前期比+14Pの「+2P」とプラスに転じた。

「大型設備工事を受注」「公共事業の契約増」等「好転」の回答が多かった。

図3. 建設業DI

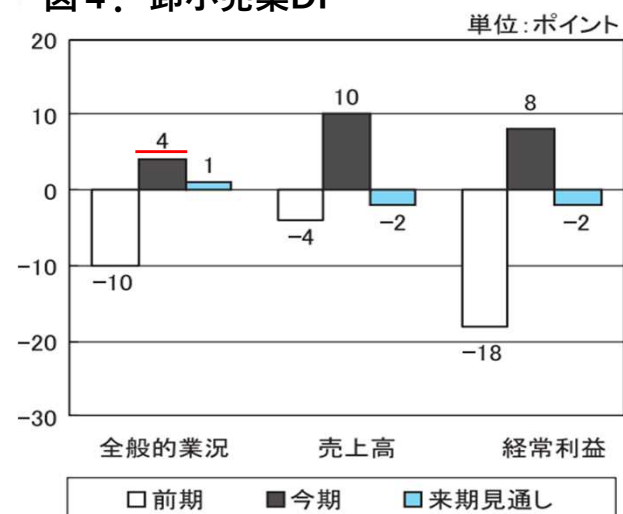


### ○卸小売業

今期の全般的業況DIは前期比14P改善して「+4P」とプラスに転じた。

一部に「仕入価格の高騰」「鶏肉・卵の不足」等「悪化」の回答があるものの、「コロナ禍の落ち着きによる需要の回復」「仕入の増加」等で「好転」の回答が増えた。

図4. 卸小売業DI

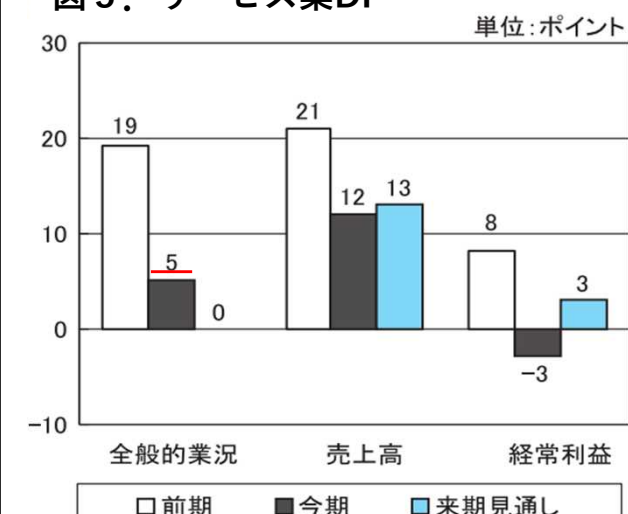


### ○サービス業

今期の全般的業況DIは▲14Pの「+5P」とプラスを維持した。

「スポーツキャンプや大学受験等で旅客、宿泊が増加」等「好転」の回答が多いものの、「年末年始需要の反動減」等「悪化」の回答も多かった。

図5. サービス業DI





## 県内企業の動向について④

商工政策課

### 3 コロナの影響

#### ○コロナの影響の度合い

コロナが業況に与える影響の度合い（3カ月前と比較）では、全体で「変わらない（47.2%）」が前期比14.7P低下した一方、「弱まった（41.7%）」は同13.1P上昇した。業種別でも全業種で「弱まった」が前期より上昇し、改善傾向がみられた。

表2. コロナの影響の度合い

単位：%

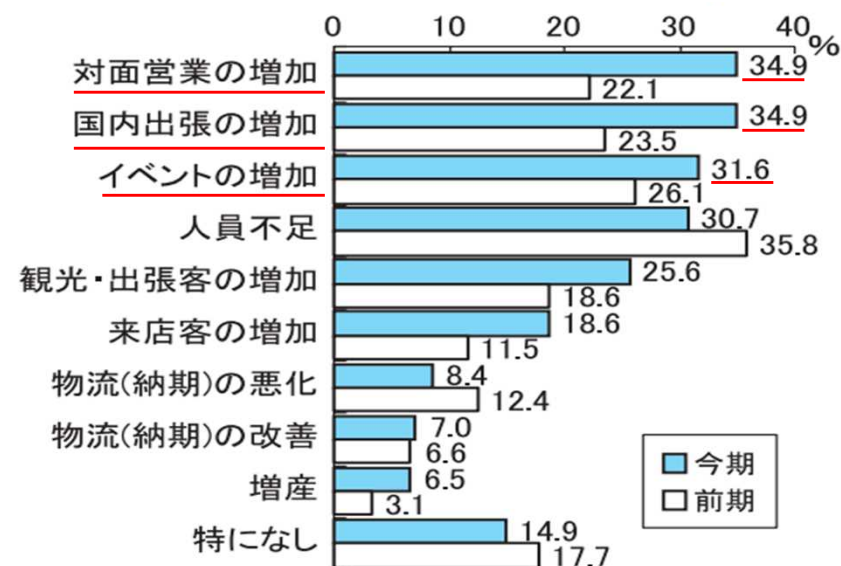
	強まった	弱まった	変わらない	影響はない
全 体	2.8	41.7	47.2	8.3
製 造 業	4.3	44.9	40.6	10.1
建 設 業	3.6	30.9	49.1	16.4
卸 小 売 業	-	44.2	53.8	1.9
サ ー ビ ス 業	2.4	47.6	47.6	2.4
	3.9	28.6	61.9	5.6
	2.6	23.7	67.1	6.6
	3.7	29.6	55.6	11.1
	6.7	25.0	66.7	1.7
	2.4	41.5	53.7	2.4

上段：今期  
下段：前期

#### ○今後予想される影響

今後（3カ月間）予想される影響では、「対面営業の増加」「国内出張の増加」が同率首位（34.9%）となり、次いで「イベントの増加（31.6%）」となった。上位2位は前期比10P以上拡大し対面での商談や会議を活発に行う様子が見られる。

図6. 今後予想される影響（複数回答）



## 県内企業の動向について⑤

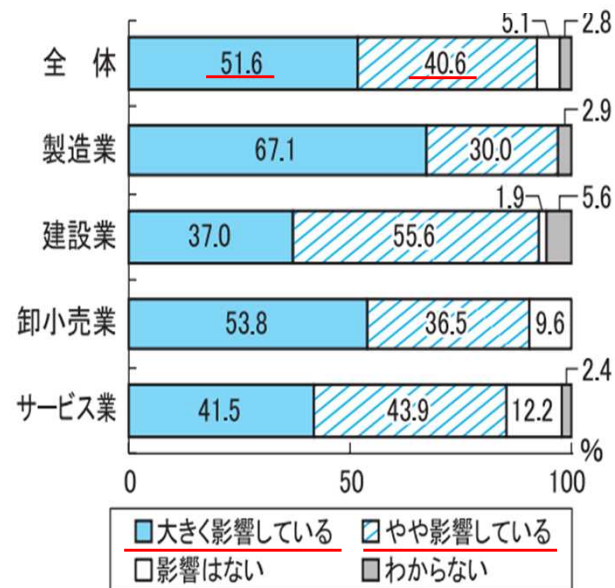
商工政策課

### 4 物価上昇の業況への影響

#### ○物価上昇の業況への影響

物価上昇が業況に与える影響では、「大きく影響している（51.6%）」「やや影響している（40.6%）」を合わせた92.2%が影響があると回答した。

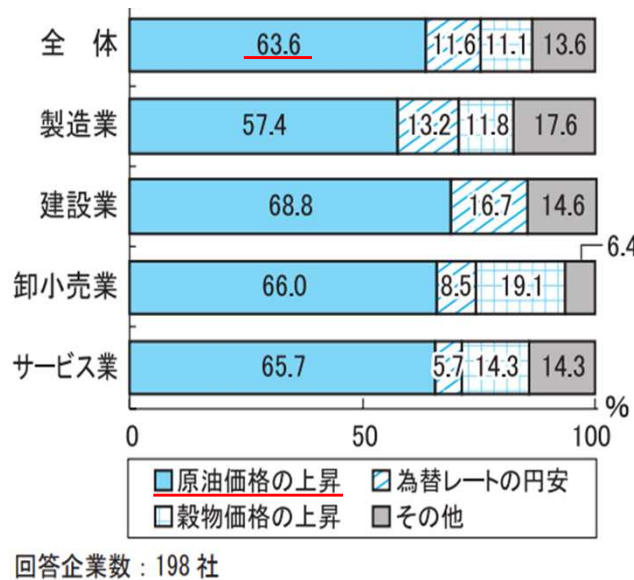
図7. 物価上昇の業況への影響



#### ○物価上昇の要因

物価上昇の要因は、全体で「原油価格の上昇（63.6%）」が最も多く、業種別では建設業の68.8%が「原油価格の上昇」と回答した。

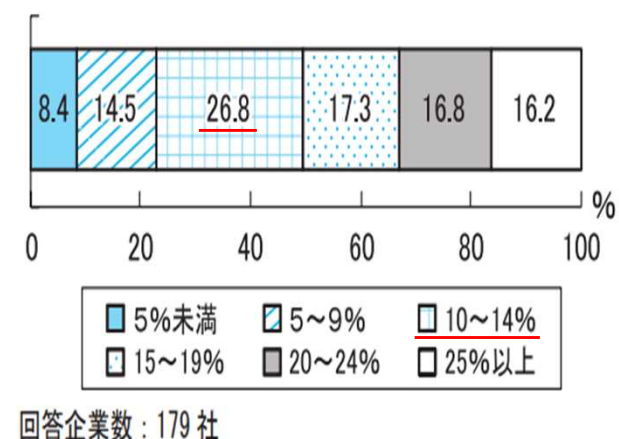
図8. 物価上昇の要因



#### ○売上原価の上昇率

「大きく影響している」「やや影響している」と回答した企業のうち、売上原価（仕入価格、原材料価格、輸送費等）の上昇率では、「10～14%（26.8%）」が最も多く、「15～19%（17.3%）」「20～24%（16.8%）」と続いた。

図9. 売上原価の上昇率



## 県内企業の動向について⑥

商工政策課

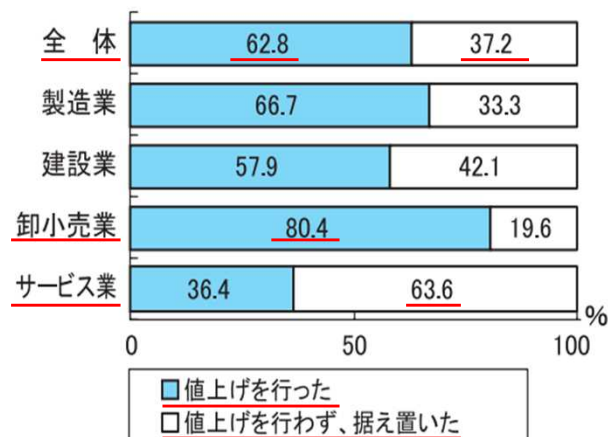
### 4 物価上昇の業況への影響

#### ○販売価格の値上げの有無

販売価格の値上げの有無では、全体で「値上げを行った」が62.8%、「値上げを行わず、据え置いた」は37.2%となった。

業種別では、卸小売業の80.4%が値上げを行い、サービス業の63.6%は値上げを行わず据え置いた。

図10. 販売価格の値上げの有無

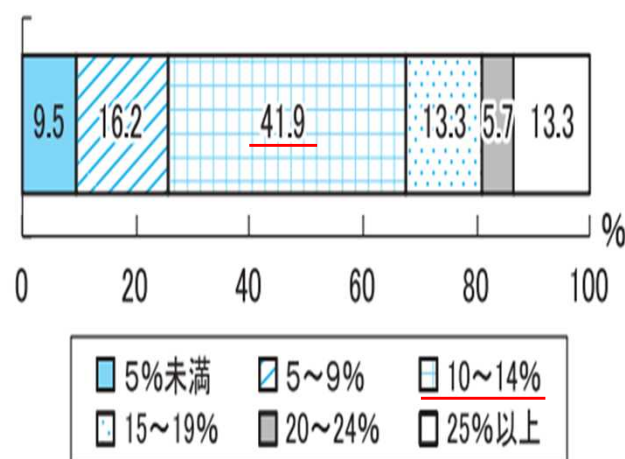


回答企業数：183社

#### ○販売価格の上昇率

販売価格の上昇率では「10～14% (41.9%)」が最多だった。

図11. 販売価格の上昇率

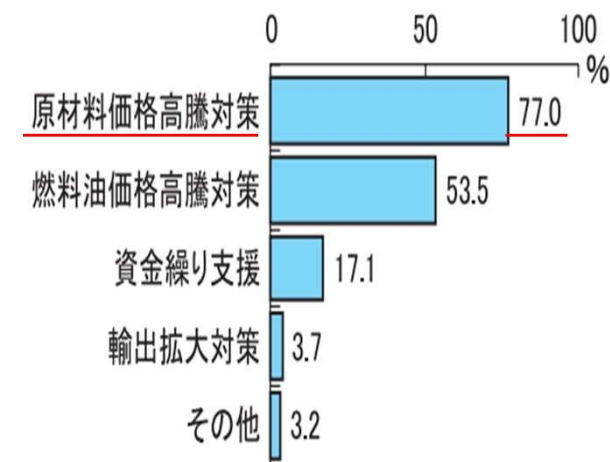


回答企業数：105社

#### ○必要とされる対策

必要とされる対策では、「原材料価格高騰対策 (77.0%)」が最も多かった。

図12. 必要とされる対策（複数回答）



回答企業数：187社

## 2. コロナ禍における本県観光の動向

### 1. 本県の観光入込客の推移について

観光推進課

令和3年の本県への観光入込客数は、新型コロナウイルスの影響により、10,126千人回で令和元年比36.2%減となった。



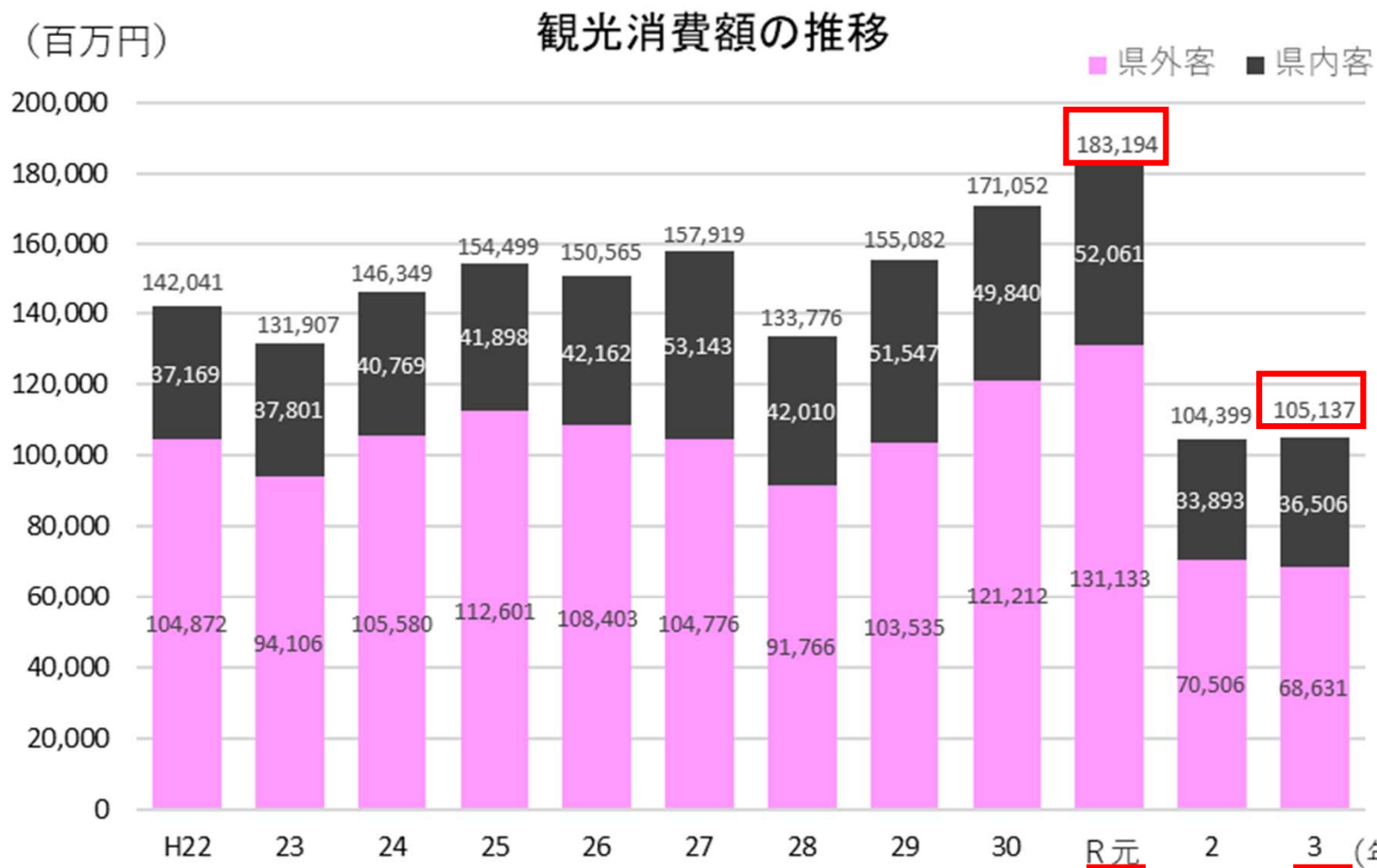
【出典】「宮崎県観光入込客統計調査」

## 2. コロナ禍における本県観光の動向

### 2. 本県の観光消費額の推移について

観光推進課

令和3年の観光消費額は、新型コロナの影響により、105,137百万円で令和元年比42.6%減となった。

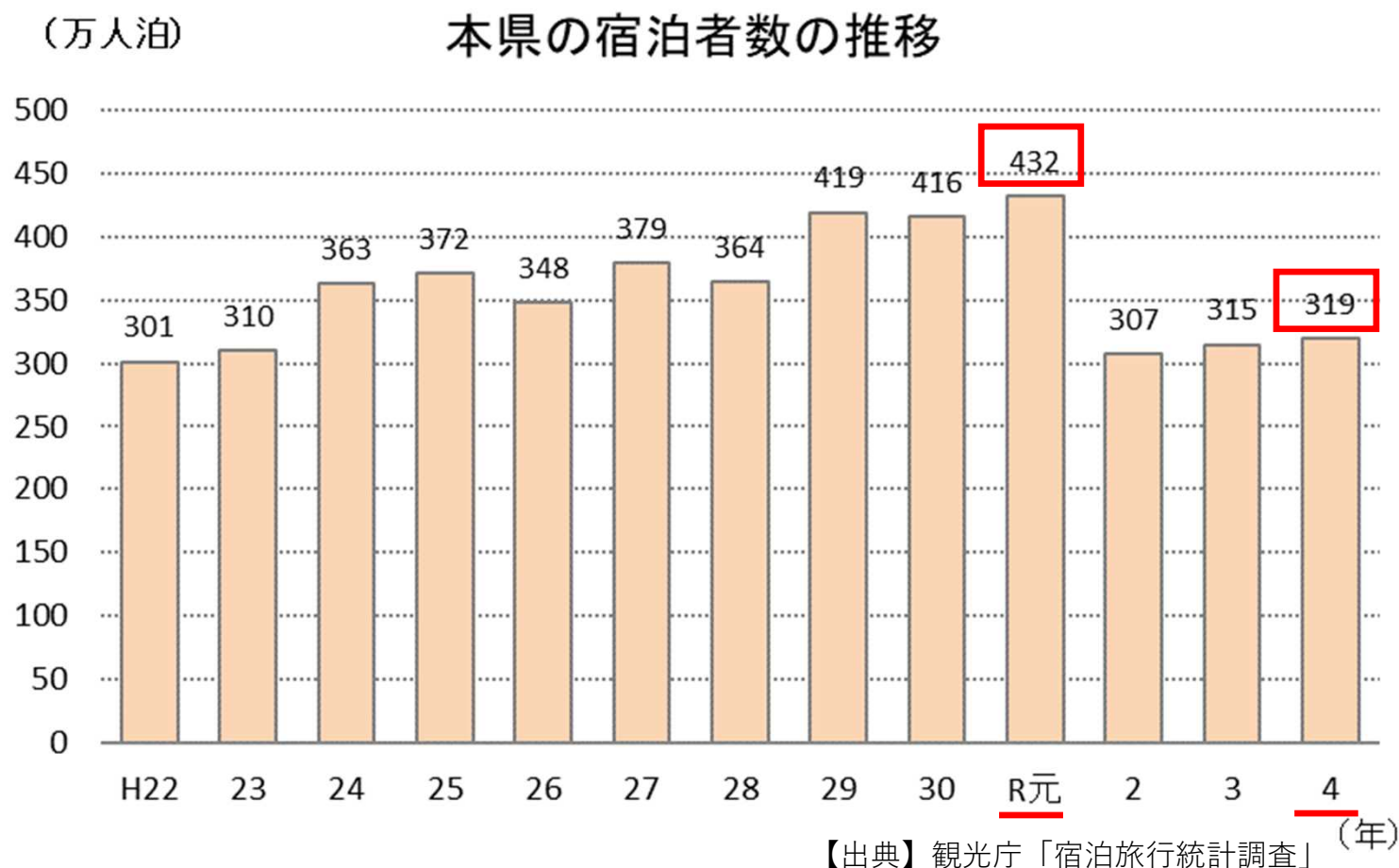


【出典】「宮崎県観光入込客統計調査」

### 3. 本県の延べ宿泊者数の推移について

観光推進課

令和4年の本県の延べ宿泊者数（速報値）は、新型コロナの影響により、319万人泊で令和元年比26.1%減となった。



## 2. コロナ禍における本県観光の動向

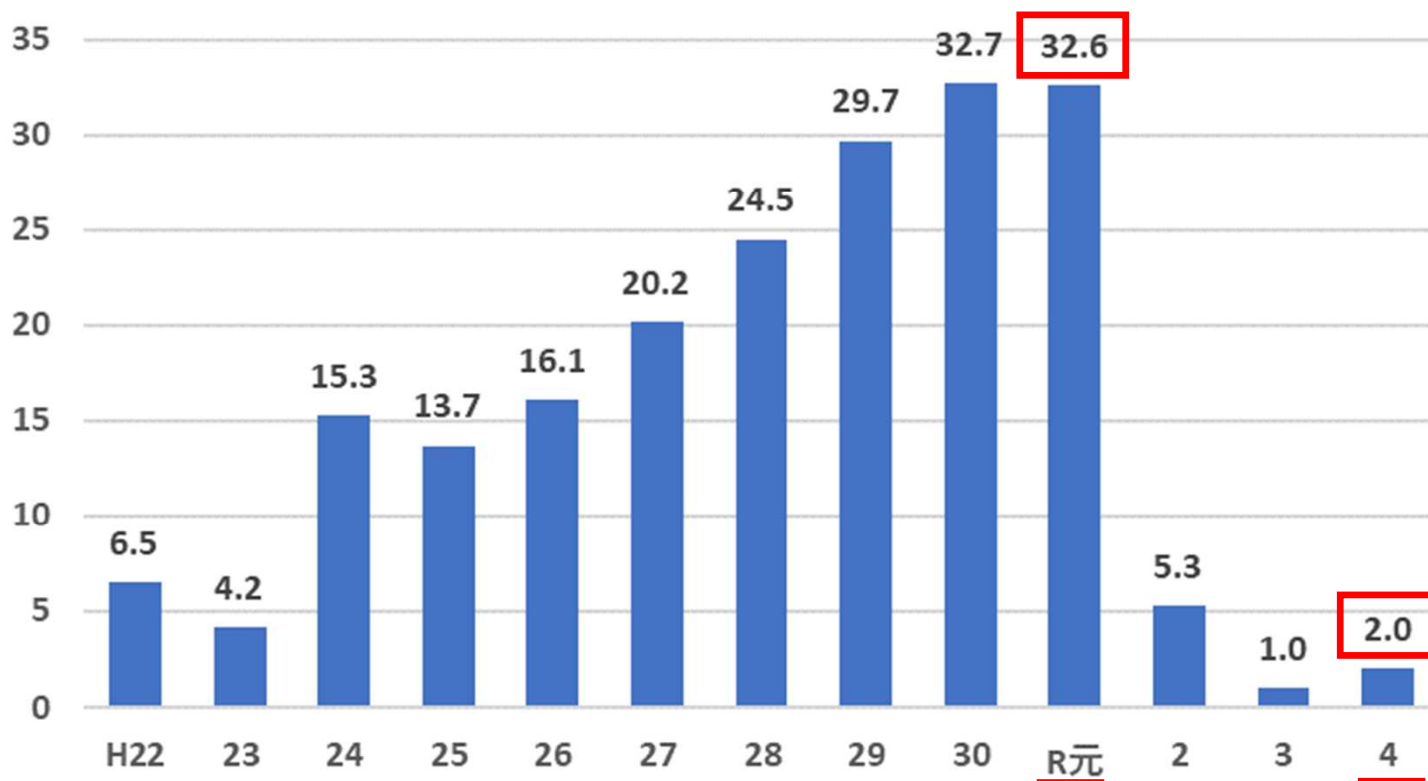
### 4. 本県の外国人延べ宿泊者数の推移について

観光推進課

令和4年の外国人延べ宿泊者数（速報値）は、新型コロナの影響により、2万人泊で令和元年比93.8%減となった。

(万人泊)

#### 外国人延べ宿泊者数推移

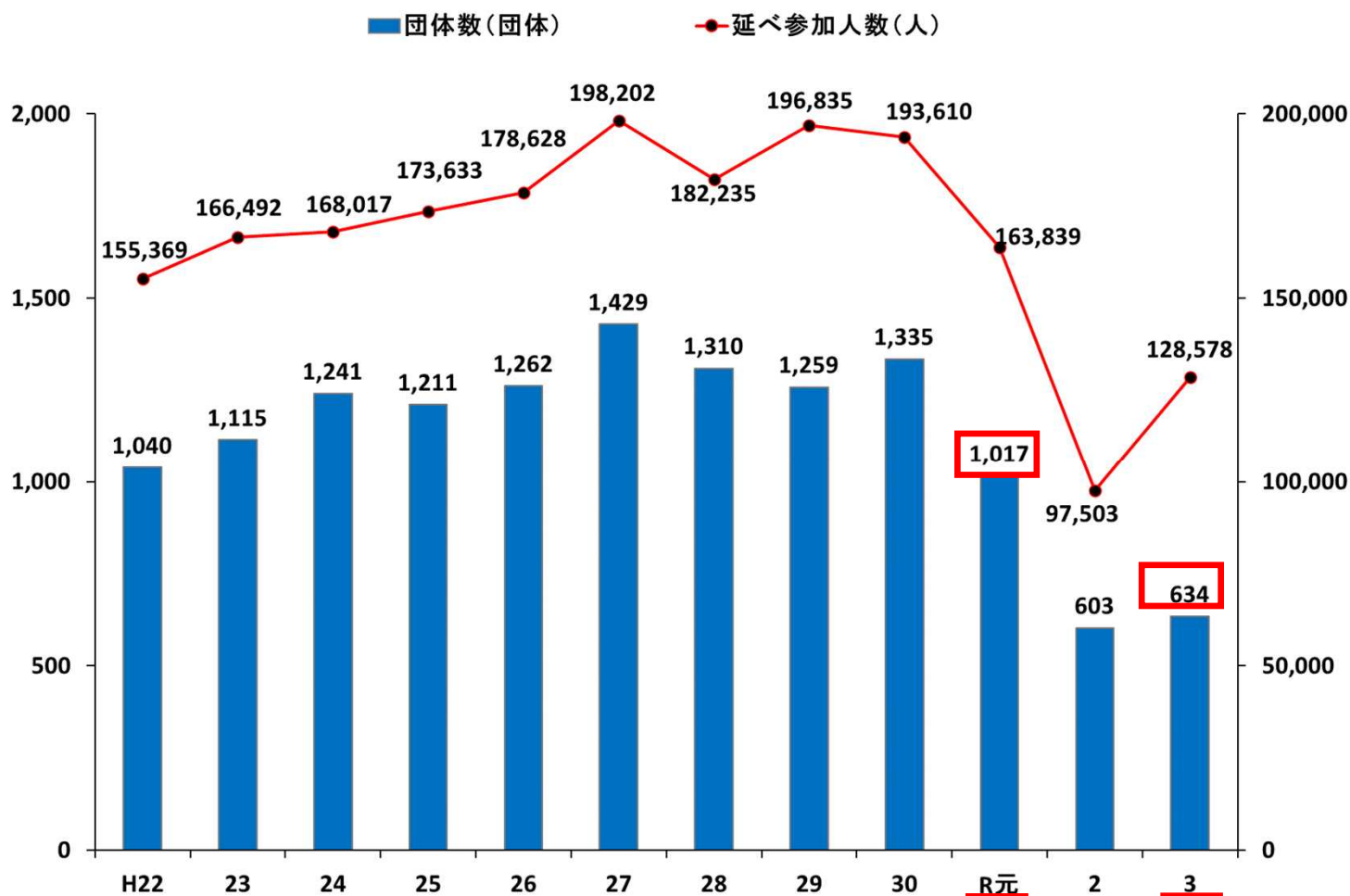


【出典】観光庁「宿泊旅行統計調査」 (年)

## 5. 県外からのスポーツキャンプ・合宿受入実績について

観光推進課

令和3年度の本県のスポーツキャンプ・合宿受入実績は、受入団体数は634団体で令和元年比37.7%減、延べ参加人数は128,578人で令和元年度比21.5%減となった。





< 施策の基本的な考え方 >

- 新型コロナの影響により宿泊事業者をはじめ観光関連事業者は極めて厳しい状況
- このため、観光関連産業の下支えと落ち込んだ観光需要の喚起を図るため、県内旅行支援や県内宿泊施設への感染症防止対策支援を実施
- インバウンドについては、本格的な再開を見据え、海外への観光情報発信を強化

### 3. コロナ禍における主な観光分野施策

## 1. 国内観光対策①

観光推進課

### (1) ジモ・ミヤ・タビ キャンペーン (R3.6.21～R4.10.10)

県内旅行需要喚起のため、宿泊等割引支援や県内のお土産店等で使用できるクーポンを付与。

※キャンペーンの対象範囲は、宮崎県民から隣県在住者、九州在住者と拡大

- ・ 割引支援：最大50%（上限5,000円）
- ・ クーポン：平日が最大4,000円、休日が最大2,000円付与

#### <取組実績>

R3年度事業 宿泊者数：506,318人泊、日帰り者数：36,788人  
計 543,106人（人泊）

R4年度事業 宿泊者数：730,827人泊、日帰り者数：99,093人  
計 829,920人（人泊）

## 1. 国内観光対策②

観光推進課

### (2) みやざき旅行支援割（みやざき割）キャンペーン (第1弾：R4.10.11～R4.12.27、第2弾：R5.1.10～R5.6.30)

国内在住者を対象に、宿泊等の割引支援や県内のお土産店等で使用できるクーポンを付与。

- ・ 割引支援：第1弾 最大40%（上限：交通付き宿泊8千円、その他5千円）  
第2弾 最大20%（上限：交通付き宿泊5千円、その他3千円）
- ・ クーポン：第1弾 平日3千円・休日1千円  
第2弾 平日2千円・休日1千円

#### <取組実績>

第1弾 宿泊者数：298,547人泊、日帰り者数：3,207人 計 301,754人（人泊）

第2弾 宿泊者数：94,473人泊、日帰り者数：341人 計 94,814人（人泊）

※R5.3.31時点（速報値）

## 1. 国内観光対策③

観光推進課

### (3) 教育旅行支援 (R2~R4)

県内での教育旅行の誘致・定着化を図るため、貸切バス借上げ費用や、旅行会社が本県での教育旅行を受注・催行する際の商品企画開発費を助成。

- ・貸切バス：1台あたり50,000円/日
- ・企画商品開発費：1人あたり2,000円

#### <取組実績>

R2年度事業	貸切バス： <u>延べ 856台</u>	企画商品開発： <u>13,470人 (248校)</u>
R3年度事業	貸切バス： <u>延べ 1,029台</u>	企画商品開発： <u>17,637人 (290校)</u>
R4年度事業	貸切バス： <u>延べ 568台</u>	企画商品開発： <u>10,671人 (139校)</u>

## 1. 国内観光対策④

### (4) 宿泊事業者による感染拡大防止策等支援 (R3)

宿泊事業者に対して、県内のホテル・旅館等における感染症対策に資する物品の購入や前向き投資に要する経費を助成。

- ・補助率：4分の3
- ・補助上限額：3,000千円～7,500千円

※客室定員数に応じて設定

#### <取組実績>

支援施設数 235施設

支援内容 空気清浄機、抗菌製品、非接触検温器の導入 等  
自動チェックイン機、Wi-Fi設備の導入、ワーケーション客室改修  
コワーキングスペースの新設 等

## 2. インバウンド対策

観光推進課

### (1) インバウンド再開を見据えた情報発信強化

現地旅行会社等と連携し、オンラインツアーを実施したほか、海外向けSNSでの情報発信を通じ、宮崎に関心を持つ方々の獲得・拡大を図った。



オンラインツアーの様子

#### <取組実績>

- ・ 現地旅行会社等と連携したオンラインツアーの実施

➡ R3・4年度実績

一般向け（香港・欧米豪）	計9回	参加者数	合計約1万9千人
旅行会社向け（台湾・中国）	計2回	参加者数	合計111社

- ・ 海外向けSNSを活用した情報発信を実施

5言語（英・韓・繁・簡・タイ）、8媒体を運営

➡ フォロワー数108,794人（R5.3.31時点）

※ R3・4年度で92,958人増加

### 3. スポーツを生かした誘客の促進①

観光推進課

#### (1) アジアゴルフツーリズムコンベンション (AGTC) 2023

ゴルフツーリズムの関係者が集うアジア最大の国際ゴルフツーリズム商談会を、日本で初めて宮崎県で開催。



商談会の様子

#### <概要>

主催：国際ゴルフツアーオペレーター協会 (IAGTO (本部：イギリス))

期間：2023年3月14日 (火) ~16日 (木) (3日間)

参加者：バイヤー：国内外旅行会社

サプライヤー：ゴルフ場、ゴルフリゾート、ホテル等

➡35の国・地域から約320名が参加

会場：フェニックス・シーガイア・リゾートほか

### 3. スポーツを生かした誘客の促進②

観光推進課スポーツランド推進室

#### (2) 第5回WBC侍ジャパン宮崎キャンプ (令和5年2月17日(金)から27日(月)まで)

第5回WBCに参加する侍ジャパンの事前キャンプを本県で受け入れ、円滑なキャンプ運営を実施。

- ・ 盛り上げ対策  
 歓迎セレモニーやボールパークの設置 等
- ・ 交通・警備対策  
 県総合運動公園周辺の渋滞対策 等



侍ジャパン集合写真

#### <概要>

場 所 : ひなた宮崎県総合運動公園 ひなたサンマリンスタジアムほか  
日 程 : (練習日) 17日、18日、19日、21日、22日、23日、27日  
(壮行試合) 25日、26日 ※福岡ソフトバンクホークスと対戦

→ 全日程で180,002人(1日平均20,000人)の来場者



### 3. スポーツを生かした誘客の促進③

#### (3) 宮崎県屋外型トレーニングセンター

国際水準のスポーツの聖地としてのブランド力向上などを目的に、トップアスリート等の合宿拠点となる屋外型トレーニングセンター（アミノバイタル®トレーニングセンター宮崎）を整備し、本年4月から供用を開始。

観光推進課スポーツランド推進室



屋外型トレーニングセンターの外観等

#### <概要>

施設名：宮崎県屋外型トレーニングセンター

位置：宮崎市山崎町浜山

面積：65,389.69㎡

設備：サッカー・ラグビー場（天然芝）、  
多目的グラウンド（400mトラック、ハイブリッド芝）、  
クラブハウス、室内練習場 等

管理運営：指定管理者による管理運営

< 施策の基本的な考え方 >

- 入国制限などの水際措置の終了、新型コロナの5類感染症への移行など、新型コロナへの対応は規制から共生へ移行
- 観光みやぎきの創生に向けて、本県の魅力を最大限に生かし、国内外の観光客に本県の魅力を発信し、国内外の観光客やスポーツキャンプ・合宿の受入れを強化

○ 令和5年度当初予算における主な事業

観光推進課

(1) ポストコロナに向けた稼ぐ観光地域づくり推進事業 (R5当初: 44,849千円)

地域を牽引する観光人材を育成するとともに、観光資源の掘り起こしや磨き上げ、観光地の受入環境整備に対し補助する。

(2) 観光みやぎき需要回復・再生プロジェクト事業 (R5当初: 584,245千円)

コロナの影響で低迷する観光需要の回復を図るとともに、宮崎県置県140年を契機に本県の魅力を県内外へ発信するため、県内周遊促進事業等に取り組む。

(3) みやぎきインバウンド誘客回復・強化事業 (R5当初: 96,350千円)

重点市場を中心とした誘客を行うとともに官民一体となった新たなテーマ型観光での誘客に取り組み、インバウンドの誘客強化を図る。

(4) スポーツキャンプ・合宿全県展開促進事業 (R5当初: 78,375千円)

スポーツキャンプ・合宿の全県化を目的に、新たなキャンプ・合宿誘致やそれに伴う県外からの誘客数の増加を図ることで、経済効果を県内全域に波及させる。

## ポストコロナに向けた稼ぐ観光地域づくり推進事業

観光推進課 44,849千円

【財源：国庫(22,364千円)、一般財源(22,485千円)】

### 事業の目的

ポストコロナ時代に向けた地域の観光資源の掘り起こしや磨き上げ、観光地の受入環境整備に対して支援するとともに、地域を牽引する観光人材を育成し、県と市町村、観光関係団体、観光事業者等が一体となった観光地域づくりに取り組む。

### 事業の概要

#### (1) 事業概要

- ① 外部専門人材配置による観光地域づくり支援：県観光協会への配置
- ② 観光みやぎ創生塾：地域の中核となる観光人材を育成
- ③ 稼ぐ観光地域づくり支援
  - ・新しい観光ニーズやテーマ別観光に対応した観光資源の掘り起こし・磨き上げや地域連携による周遊・滞在型観光への取組に対する補助（補助率1/2以内）
  - ・自然景観を生かした観光や体験型観光、ペットと一緒に楽しむ観光に対応した受入環境整備に対する補助（補助率1/2以内）

#### (2) 成果指標

みやぎ観光情報 旬ナビ「me trip」体験メニュー数 49件（R4）→ 57件（R5）

### 事業の期間

令和5年度

# 観光みやぎ需要回復・再生プロジェクト事業

観光推進課 584,245千円  
【財源:宮崎再生基金】

## 事業の目的

新型コロナの長期化により低迷する観光需要を回復し、観光再生の加速化を図るとともに、宮崎県置県140年を契機として本県の魅力を県内外に発信するため、県内周遊促進事業やプロモーション等に取り組む。

## 事業の概要

### 事業内容

#### 1 周遊促進事業

- 「5つのS旅」による周遊促進
- 神話：対象神社での記念御朱印の授与等
- 自然・森林：宮崎の自然や景観等から得られる癒やし旅ツアーや宿泊プランの造成等
- 食：観光関連産業と連携したグルメ周遊企画
- スポーツ：ゴルフツーリズムのツアー造成等、サイクルツーリズムのツアー造成

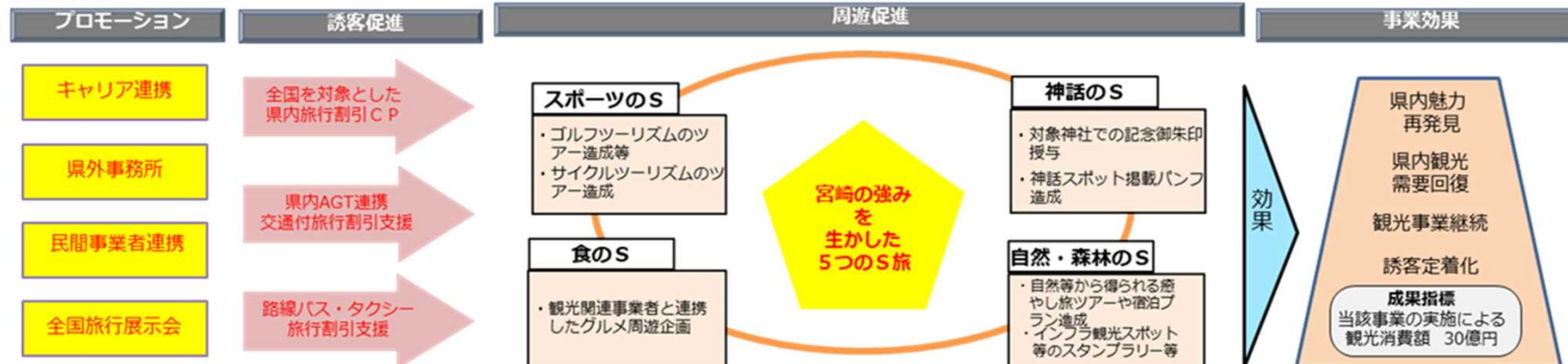
#### 2 誘客促進事業

- 全国対象の県内旅行割引キャンペーン
- 県内旅行会社への交通付旅行割引支援
- 路線バス割引チケット割引支援
- タクシー回数券等割引原資・PR支援

#### 3 観光事業者等との連携プロモーション

- 交通機関と連携したプロモーション
- 県外事務所による首都圏プロモーション
- 民間事業者と連携したプロモーション
- 観光関連イベントによるプロモーション

### <イメージ>



## 事業の期間

令和5年度

## みやぎインバウンド誘客回復・強化事業

観光推進課 96,350千円  
【財源:一般財源】

### 事業の目的

重点市場を中心とした誘客を行うとともに官民一体となった新たなテーマ型観光での誘客に取り組み、インバウンドの誘客強化を図る。

### 事業の概要

#### (1) 事業内容

- ① 現地セールスプロモーション  
海外事務所を活用した現地での情報発信強化、商談会出展等
- ② 重点市場からの誘客回復促進  
現地旅行会社が造成する宮崎空港・隣県空港を活用した旅行商品への支援
- ③ 新規コンテンツ造成・販売力強化  
アドベンチャーツーリズム商品化支援、セールス・フォローアップ支援
- ④ クルーズ誘致セールス強化  
セールスプロモーション、情報発信強化

#### (2) 成果指標

- ・外国人延べ宿泊客数（令和7年）326千人
- ・国際クルーズ船寄港回数（令和7年）30件

### 事業の期間

令和5年度～令和7年度

## スポーツキャンプ・合宿全県展開促進事業

観光推進課 スポーツランド推進室 78,375千円

【財源:宮崎再生基金(65,990千円)、一般財源(10,385千円)、国庫(2,000千円)】

### 事業の目的

スポーツキャンプ・合宿の全県化を目的に取り組むことで、新たなキャンプ・合宿誘致やそれに伴う県外からの誘客数の増加を図り、経済効果を県内全域に波及させる。

### 事業の概要

#### (1) 事業内容

- ① 市町村受入施設等の環境整備への支援（補助率1/2又は1/3）
- ② スポーツキャンプ等受入広域化支援
  - ・大規模スポーツイベントや大会等の開催・誘致に対して支援を行う。
- ③ 国内外代表合宿の受入支援
  - ・「国内外代表合宿受入実行委員会」対して、代表合宿受入に必要な経費の一部を負担する。
- ④ 屋外型トレーニングセンターなどへの誘致セールス等

#### (2) 成果指標

県外からのキャンプ・合宿延べ参加者数（128,578人（令和3年度）→225,000人（令和7年度））

### 事業の期間

令和5年度～令和7年度